

授業科目	フランス語入門				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO10508J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	麻生 恵美							
授業概要	フランス語に初めて触れる人を対象とし、フランス語の基礎を学びます。文法、語彙、表現などの学習を通して、必要な4つの技能「聞く・話す・読む・書く」を身につけ、コミュニケーション力を養います。また、フランスの豊かな文化や習慣について理解を深めます。教科書は実用フランス語技能検定5級合格に必要なレベルを満たしたものを用います。自主学習に役立つサポート教材とも連動していますので、自分で学習の記録を振り返りながら学ぶことができます。「フランス語を使う楽しさ」を味わいながら、新たな言語の世界に親しみましょう。この授業は遠隔授業として実施します。							
学生が達成すべき行動目標	1.フランス語の入門的な内容を主体性を持って学ぶことができる。 2.自ら考え、協力して課題を達成することができる。 3.学んだことを活かし、身の回りのことを表現することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	20	0	20	20	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20	10	0	10	10	0	50	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	20	10	0	10	10	0	50	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
フランス語の基本的な知識をよく理解し、自分の言いたいことを自然な単文で表現することができる。周囲の人を助け、率先して課題を達成することができる。				フランス語の基本的な知識をある程度理解し、自分の言いたいことを簡単な単文で表現することができる。助け合って課題を達成することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 0課: フランス語学習のために(パリを知る)			Classroom		復習: 音源を活用し該当部分を理解する		30

2	1課:フランス語のルール(アルファベ、フランス語のルール)	Classroom	予習:単語や語彙を調べる 復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
3	1課:フランス語のルール(挨拶、数)	Classroom	予習:単語や語彙を調べる 復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
4	2課:パン屋で買う(名詞の性、冠詞1)	Classroom	予習:単語や語彙を調べる 復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
5	2課:パン屋で買う(提示の表現、「これは何ですか?」/「~ください」)	Classroom	予習:単語や語彙を調べる 復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
6	3課:パリ発祥の地、シテ島(主語人称代名詞、動詞 être)	Classroom	予習:単語や語彙を調べる 復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
7	3課:パリ発祥の地、シテ島(動詞 avoir, 職業と国籍)	Classroom	予習:単語や語彙を調べる 復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
8	4課:凱旋門とエッフェル塔(第1群規則動詞、疑問文)	Classroom	予習:単語や語彙を調べる 復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
9	4課:凱旋門とエッフェル塔(疑問文と答え方、様々な動詞/都市/言語)	Classroom	予習:単語や語彙を調べる 復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
10	5課:パリのマルシェ(冠詞2、名詞)	Classroom	予習:単語や語彙を調べる 復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
11	5課:パリのマルシェ(否定文と否定疑問文、食べ物/飲み物)	Classroom	予習:単語や語彙を調べる 復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
12	6課:美術館で名作を観る(形容詞、指示形容詞、基本的な形容詞)	Classroom	予習:単語や語彙を調べる 復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
13	6課:美術館で名作を観る(所有形容詞、家族/色/人について言う/状態を言う/所有を言う)	Classroom	予習:単語や語彙を調べる 復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
14	前期のまとめ	Classroom	復習:音源を活用し該当部分を理解する	30
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	フランス語に興味関心を持ち、積極的に課題に取り組む姿勢があることが望ましいです。			
テキスト	・有富智世ほか「なびふらんせ1ーパリをめぐる」(朝日出版社, 2016年, 2,500円+税) ・プリント配布			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	辞書:『ロベール・クレ仏和辞典』(駿河台出版社) 参考書:西村牧夫ほか『コレクションフランス語Ⅲ 文法』(白水社) 学習サポート教材 {Web なびふらんせ, http://navifr.fj.tokoha-u.ac.jp/wnf/ }			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	語学は積み重ねが一番の近道なので、遅刻と欠席をしないように心がけてください。検定試験にもぜひ挑戦してほしいと思います。ここで学ぶことで単にフランス語を使えるようになるというだけでなく、皆さんの今後の活躍の場が広がっていくことを期待しています。			
達成度評価に関するコメント	試験(40%):ライティング、リスニング、リーディング問題の得点を評価します。 小テスト(20%):「Web なびふらんせ」の各課のテストの得点を評価します。 発表(20%):授業中の会話練習、口頭発表の内容を評価します。 レポート外の提出物(20%):宿題、授業中の提出物(映像視聴のプリント等)の内容を評価します。			

